

2020 年度事業報告書

(2020 年 4 月 1 日～ 2021 年 3 月 31 日)

国際交流事業		
1	国際講演会	なし
2	IBBY 支部としての活動	ア) IBBY 世界大会 (9 月→次年度に延期) イ) 国際子どもの本の日キャンペーン (3 月) ウ) 日中韓共同プロジェクト (12 月) エ) 年会費の支払 (4 月) オ) IBBY と日本のスポンサーとの橋渡し カ) IBBY チルドレン・イン・クライシスへの協力
3	国際賞への推薦事業	ア) 国際アンデルセン賞 (8 月) イ) IBBY バリアフリー児童図書 (7 月) ウ) IBBY サイレント・ブックス (1 月) エ) アストリッド・リンドグレン記念文学賞 (5 月)
4	派遣・出展事業	なし
調査研究・情報提供事業		
1	図書展	ア) 世界の子どもの本展 (1 会場) イ) 世界のバリアフリー児童図書展 (13 会場) ウ) 日中韓絵本「となりの国への扉」
2	ブックリストの作成	ア) 「IBBY がすすめる世界の児童書 2020」(次年度に期ずれ) イ) 「おすすめ！世界の子どもの本 2020」(2 月) オ) 「Japanese Children's Books 2021」(次年度に期ずれ) エ) 「おすすめ！日本の子どもの本 2021」(次年度に期ずれ)
3	講座・研究会	ア) オンライン・トライアル講座 (オンライン 9 月) イ) 世界の子どもの本講座 (オンライン 4 回：9～1 月) ウ) 新・編集者講座 (オンライン 3 回：10～11 月) エ) 子どもの本の翻訳フォーラム (オンライン 1 月) オ) 希望プロジェクト学びの会 (オンライン 3 回：11～2 月) カ) ノンフィクションの勉強会 (オンライン 2 回：10～3 月)
4	会報の発行	「Book & Bread」(年 4 回、6・9・12・3 月)
5	ウェブサイト	ホームページ／Facebook／Facebook 会員サロン／Twitter／Instagram／メールマガジン
6	協力事業ほか	ア) 子どもの読書推進会議 イ) ブラチスラバ世界絵本原画展 (国内巡回展) ウ) 山田養蜂場「ミツバチの絵本コンクール」 エ) 群馬県太田市美術館・図書館 オ) 後援名義の提供 ほか
その他の事業		
1	イタリア・ボローニャ国際絵本原画展	巡回展事務局業務 (国内 4 会場)
2	希望プロジェクト	ア) 支援活動 (野馬追文庫、その他) イ) 少年院ライブラリー ウ) 募金活動
3	フォーラム・子どもたちの未来のために	学習会 (オンライン 2 回：12～3 月)
4	出展ほか	上野の森親子ブックフェスタ (中止)
5	物販	なし
組織・その他		
1	総会・理事会	総会 1 回 (6 月)／理事会 5 回 (5～3 月)

● 2020 年度カレンダー（2020 年4月～ 2021 年3月）

4月	15 日：子ども食堂へマスク送付 30 日：IBBY 会費の納入
5月	15 日：リンドグリーン賞推薦 26 日：第 1 回理事会（オンライン） 26 日：ブックトークビデオプロジェクト開始
6月	14 日：「おすすめ！世界の子どもの本」選書開始 26 日：第 50 回定時総会（日本出版クラブ） 30 日：Book & Bread 143 号刊行
7月	11 日：野馬追文庫 22 日：第 2 回理事会（オンライン） 25 日：バリアフリー図書国内選考会 28 日～8 月 30 日：世界のバリアフリー児童図書展（国際子ども図書館） ～8 月：子ども食堂などにミニ絵本送付
8月	22～9/27 日：ポローニャ国際絵本原画展（板橋区立美術館） 23 日/25 日：国際アンデルセン賞国内選考会
9月	1 日～11 月 19 日：日中韓展示「となりの国への扉」①韓国編（日本出版クラブビル） 5 日：オンライントライアル講座（講師：土居安子、さくまゆみこ、広松由希子） 7 日：第 3 回理事会（オンライン） 13～25 日：世界のバリアフリー児童図書展（名古屋市緑図書館） 14 日：IBBY チルドレン・イン・クライシス（レバノン）募金開始 27 日：世界の子どもの本講座①（講師：赤羽茂乃 / オンライン） 30 日：Book & Bread 144 号刊行
10月	3 日～11 月 1 日：ポローニャ国際絵本原画展（四日市市立博物館） 9～23 日：世界のバリアフリー児童図書（ミライロハウス TOKYO） 11 日：野馬追文庫 16 日：ノンフィクションの会①（オンライン） 17 日：「おすすめ！日本の子どもの本」選書開始 21 日：新編集者講座①（講師：佐渡島庸平 / オンライン） 27 日～11 月 9 日：世界のバリアフリー児童図書（静岡県立大学短期大学部） 31 日：世界の子どもの本講座②（講師：田島征三 / オンライン）
11月	6 日～12 月 13 日：ポローニャ国際絵本原画展（石川県七尾美術館） 11 日：新編集者講座②（講師：篠原一朗 / オンライン） 14～29 日：世界のバリアフリー児童図書（太田市美術館・図書館） 18 日：第 4 回理事会（オンライン） 20 日～1 月 14 日：日中韓展示「となりの国への扉」②中国編（日本出版クラブビル） 25 日：新編集者講座③（講師：兼森理恵・磯崎園子 / オンライン） 28 日：希望プロジェクト学びの会①（講師：金澤ますみ / オンライン）
12月	4～13 日：世界のバリアフリー児童図書（高知こどもの図書館） 5 日：世界の子どもの本講座③（講師：中野怜奈 / オンライン） 5 日：日中韓プロジェクト 13 日：フォーラム子どもたちの未来のために①（講師：山田健太 / オンライン） 16～25 日：世界のバリアフリー児童図書（横浜ラポール） 19 日：希望プロジェクト学びの会②（講師：千葉美香 / オンライン） 20 日：みんかふえにミニ絵本送付 30 日：Book & Bread 145 号刊行
1月	5～24 日：ポローニャ国際絵本原画展（太田市美術館・図書館） 13～24 日：世界のバリアフリー児童図書（愛荘町立図書館） 16 日：翻訳フォーラム（講師：斎藤倫子・西村由美・母袋夏生・さくまゆみこ / オンライン） 22 日：IBBY サイレント・ブック推薦 30 日～2 月 7 日：世界のバリアフリー児童図書（あかし市民図書館） 31 日：世界の子どもの本講座④（講師：南平かおり / オンライン）
2月	10～14 日：世界のバリアフリー児童図書（明石市立西部図書館） 11 日：希望プロジェクト学びの会③（講師：菅野祐太 / オンライン） 24～3 月 6 日：世界のバリアフリー児童図書（板橋区立蓮根図書館） 25 日：「おすすめ！世界の子どもの本 2020」刊行 25 日：福島県本宮市立図書館に子どもの本送付
3月	1 日～：国際子どもの本の日ポスターとメッセージの配付 4 日：第 5 回理事会（オンライン） 10 日：ノンフィクションの会②（オンライン） 11 日：野馬追文庫 15～21 日：世界のバリアフリー児童図書（枚方市立中央図書館） 19～28 日：世界の子どもの本展（山梨県） 20～29 日：国際子どもの本の日記念イベント 31 日：Book & Bread 146 号刊行

【国際交流事業】

1. 国際講演会

なし

2. IBBY 支部としての活動

ア) IBBY 世界大会（隔年）

第 37 回 IBBY 世界大会は、コロナウィルスの影響で延期になった。

大会テーマ	子どもの本がつなぐ大きな世界
会期	2020 年 9 月 5 ～ 7 日 → 2021 年 9 月 10 ～ 12 日
開催国	ロシア・モスクワ

IBBY ロシア支部が、各国支部の沿革をまとめた展示をするにあたり、「日本支部の創設時と現在」という資料を作成し提出した（担当：さくま・宇野・藤田）。

■ IBBY と世界大会・地域大会

現在 IBBY には 80 の国と地域が加盟しており、隔年で開催される子どもの本の世界大会（IBBY 世界大会）では、国際アンデルセン賞や IBBY 朝日国際児童図書普及賞の授与式のほか、総会や役員選挙などが行われる。数年前から、世界大会がない年に、地域ごとの大会も開催されるようになった。ヨーロッパ地域大会、ラテンアメリカ・カリビアン地域大会、アフリカ大会、アジア・オセアニア地域大会がある。アメリカ合衆国は、26 年前から独自に USBBY 大会を実施している。

イ) 国際子どもの本の日キャンペーン

「国際子どもの本の日」を記念し日本でも事業を行った。

(1) 世界共通ポスターとメッセージの発信

IBBY 各国支部が順番に作成するポスターとメッセージを日本語版にし、JBBY 会員のほか、全国の公共図書館や関連施設に配布した。

2021 年制作担当国	アメリカ合衆国
メッセージ	マーガリータ・エンゲル
ポスター	ホリエル・メロ
メッセージ翻訳	島 式子
日本語版メッセージ / ポスター	A2 サイズ、6,000 部

(2) 記念イベントの実施

コロナウィルスの影響により、「子どもの本の日フェスティバル」をオンラインで実施した。一部「子どもゆめ基金」助成活動。

3/20 (土祝)	絵本を翻訳してみよう： 翻訳体験ワークショップ	講師：こだまともこ 進行：宇野和美
3/20 (土祝)	『ほんとうの願いがかなうとき』読書会：翻訳家と話してみよう	講師：中野伶奈 進行：さくまゆみこ
3/21 (日)	オンラインリレー★絵本作家と遊ぼう！	出演：田島征三、垂石眞子、田中清代、降矢なな、長野ヒデ子、角野栄子、ホリエル・メロ 進行：土居安子、広松由希子
3/27 (土)	お話を作ってみよう＋児童文学作家のミニトーク	講師：安東みきえ、山本悦子、吉野万理子 進行：濱野京子

3/27 (土)	岩瀬成子講演会「ずっと子どもを書いてきました」＊「子どもゆめ基金」助成活動	講師：岩瀬成子 ゲスト：荒井良二 進行：野上暁
3/28 (日)	紙コップのマリオネットを作って絵本を楽しもう！	出演：上地史人、三根政信、ひろかわさえこ 進行：野坂悦子
3/29 (月)	科学遊び：チャレンジ！紙の橋を強くするには？	講師：二階堂恵理

■ 国際子どもの本の日

IBBY は 1966 年に、アンデルセンの誕生日である 4 月 2 日を「国際子どもの本の日」と定め、各国で本を普及するイベントを奨励した。翌 67 年からは、IBBY 支部が交代に記念ポスターとメッセージを作成し、世界中に発信している。

ウ) 日中韓共同プロジェクト

2019 年にスタートした企画で、IBBY の日中韓支部が年に 2 回テーマを決めて 5 冊ずつ自国のおすすめ本を選ぶ。第 2 回のテーマは「家族」で、2021 年 2 月にウェブ上で発表した。
<https://jbby.org/cjkbby-project/>

韓国の本	『ぼくは犬や』(나는 개다, 本を読む熊社) ＊日本語版『ぼくは犬や』(ベク・ヒナ作／長谷川義史 訳／ブロンズ新社)
	『ふうせんいつつ』(풍선 다섯개, シゴン・ジュニア)
	『オットセイばあちゃん』(물개 할망, モレアル)
	『宇宙への階段』(우주로 가는 계단, チャンピ)
中国の本	『アロハ、私の母たち』(알로하 나의 엄마들, チャンピ)
	『パパにはないしよね』(别告诉爸爸, 接力出版社)
	『おじいちゃんと私』(爷爷和我, 中国少年儿童新闻出版総社)
	『私の親愛なるナニー』(我亲爱的奶娘, 青島出版社)
日本の本	『57 ページ目の秘密』(第 57 页的秘密, 湖南少年儿童出版社)
	『久しぶりの詩』(隔了那么久的一首诗, 江苏凤凰少年儿童出版社)
	『おとうさんは、いま』(湯本香樹実 文／ささめやゆき絵／福音館書店)
	『ヒロシマ消えたかぞく』(指田和 著／鈴木六郎 写真／ポプラ社)
	『それでも、海へー陸前高田に生きる』(安田菜津紀 文・写真／ポプラ社)
	『春くんのいる家』(岩瀬成子 作／文溪堂)
	『徳治郎とボク』(花形みつる 作／理論社)
選書	さくまゆみこ、汐崎順子、土居安子、野上暁、広松由希子
原稿執筆	さくまゆみこ、土居安子、野上暁
翻訳	神谷丹路、王玉、李麗
編集	さくまゆみこ、藤田隆広

エ) IBBY 年会費の納入

年会費 7,500 スイスフラン (=856,853 円) を納めた。IBBY の会費カテゴリーは、その支部の年間児童書出版点数を基準に決まる。

カテゴリー 1 (6 カ国)	中国、フランス、ドイツ、日本、イギリス、アメリカ合衆国
カテゴリー 2 (10 カ国)	オーストラリア、ベルギー、カナダ、イタリア、韓国、オランダ、スペイン、スウェーデン、スイス、アラブ首長国連邦
カテゴリー 3 (2 カ国)	デンマーク、ノルウェー
カテゴリー 4 (10 カ国)	オーストリア、ブラジル、チェコ、フィンランド、インド、アイルランド、イスラエル、メキシコ、ポーランド、ロシア
カテゴリー 5 (8 カ国)	アルゼンチン、アイスランド、イラン、マレーシア、ニュージーランド、スロベニア、タイ、トルコ
カテゴリー 6 (11 カ国)	チリ、コロンビア、クロアチア、キプロス、エジプト、ギリシャ、ハンガリー、インドネシア、スロバキア、南アフリカ、ベネズエラ
カテゴリー 7 (10 カ国)	アゼルバイジャン、エクアドル、エストニア、ヨルダン、ラトビア、リトアニア、パキスタン、ペルー、チュニジア、ウクライナ
カテゴリー 8 (22 カ国)	アフガニスタン、アルバニア、アルメニア、ボリビア、カンボジア、コスタリカ、キューバ、エルサルバドル、ガーナ、ハイチ、レバノン、モルドバ、モンゴル、ネパール、パレスチナ、ルワンダ、スリランカ、タンザニア、ウガンダ、ウルグアイ、ザンビア、ジンバブエ

オ) IBBY と日本のスポンサーとの連携協力
連絡や交渉の中継や、会議の段取りをした。

IBBY 朝日国際児童図書普及賞	朝日新聞社
IBBY 山田基金 (IBBY-Yamada Fund)	山田養蜂場

■ IBBY 朝日国際児童図書普及賞 (IBBY-Asahi Reading Promotion Award) 1986 年に東京で、アジアで初めての IBBY 世界大会が開催された際、朝日新聞社が IBBY の活動に賛同して創設した賞。図書普及や識字活動で成果をあげた団体に贈られる。 ■ IBBY 山田基金 (IBBY-Yamada Fund) スマトラ島沖地震 (2004 年) に対し山田養蜂場から寄せられた支援金を元に 2005 年に発足した基金。その後も支援が継続され、すべての子どもが自由に本を読める世界をめざし、年間 8 ～ 10 回の読書推進のための草の根的なワークショップの支援を行っている。
--

カ) IBBY チルドレン・イン・クライシスへの協力
2020 年 8 月のベイルートでの工場大規模爆発で被災した学校の図書館再建のため、国内で寄付を募り 10 万円を集めて IBBY に送った。

3. 国際賞への推薦

ア) 国際アンデルセン賞への推薦 (隔年事業)
2022 年 国際 アンデルセン 賞 (2022 Hans Christian Andersen Award) に日本の作家と画家を推薦した。

作家賞候補	岩瀬成子	代表 5 作品：『朝はだんだん見えてくる』『ぼくが弟にしたこと』(以上、理論社)『ピース・ヴィレッジ』(偕成社)『きみは知らないほうがいい』(文研出版)『あたらしい子がきて』(岩崎書店)
-------	------	---

画家賞候補	荒井良二	代表 5 作品：『たいようオルガン』『あさになったのでまどをあけますよ』『きょうはそらにまるいつき』(以上、偕成社)『オツベルと象』(三起商行)『ユックリとジョジョニ』(ほるぶ出版)
-------	------	---

▽国内選考会 (オンライン)

作家賞	8 月 23 日	選考委員：さくまゆみこ、代田知子、土居安子、中野伶奈、野上暁
画家賞	8 月 25 日	選考委員：位頭久美子、土居安子、広松由希子、松岡希代子、松方路子

■ 国際アンデルセン賞 1953 年に IBBY が創設した子どもの本の国際的な賞で「Little Nobel Prize (小さなノーベル賞)」と称される。3 年の準備期間を経て 1956 年に第 1 回の授与式が行われた。IBBY に加盟する支部が推薦する候補者の中から、2 年に 1 度、子どもと子どもの本に最も貢献した作家と画家の全業績を対象に贈られる。選考は、世界 11 カ国から選任された国際選考委員 (委員長含) があたる。日本からは、赤羽末吉 (1980 画家賞)、安野光雅 (1984 画家賞)、まど・みちお (1994 作家賞)、上橋菜穂子 (2014 作家賞)、角野栄子氏 (2018 年作家賞) が受賞している。
--

イ) IBBY バリアフリー児童図書への推薦 (隔年事業)
2021 年 IBBY バリアフリー児童図書コレクション (2021 Outstanding Books for Young People with Disabilities) に、下記の 7 作品を推薦した。IBBY の国際選考を経て、『ころりん・ぱ!』と『こくん』が、2021 年 IBBY セレクションに選ばれた。

『もぐらくんのおさんぽ』布の絵本	大江委久子 制作 / 2019
『ころりん・ぱ!』	ひらぎみつえ作 / ほるぶ出版 / 2019
『100』	名久井直子 作 / 井上佐由紀 写真 / 福音館書店 / 2020
『まぼろしえほん』	井上洋介 作・絵 / 鈴木出版 / 2018
『きみの存在を意識する』	梨屋アリエ著 / ポプラ社 / 2019
『こくん』	村中李衣 作 / 石川えりこ 絵 / 童心社 / 2019
『読む喜びをすべての人に〜日本点字図書館を創った本間一夫』	金治直美 文 / 佼成出版社 / 2019

▽国内選考会 (オンライン)

2020 年 7 月 25 日	選考委員：さくまゆみこ、梨屋アリエ、林左和子、村中李衣、山田真世 世話人：攪上久子
-----------------	---

■ IBBY バリアフリー児童図書 1985 年、障害児向けの図書の調査研究と利用の促進を目的にノルウェーのオスロ大学特別支援研究所の中に、IBBY の障害児のため図書資料センターが設立。以来、各国支部から障害児の読書を助ける優れた児童書を収集、その中から特に際立った作品のカタログを発行してアイデアバンクとしての役割を果たしている。センターは、2002 年にノルウェー・バルムのハウグ特別支援学校図書館へ、2014 年にカナダのトロント市立ノースヨーク中央図書館へ移転。
--

ウ) IBBY サイレント・ブックス (隔年)
第 5 回 IBBY サイレント・ブックスに、下記の 5 作品を推薦した。会員から推薦を募り、理事会にて選定した。

『まどのむこうのくだもの なにあに?』	荒井真紀 作／福音館書店／2019
『さわるめいろ 3』	村山純子 作／小学館／2019
『三びきのこぶた』（布の 絵本）	ぐるーふ・もこもこ制作／2020

■IBBY サイレント・ブックス

2012年にIBBY イタリア支部が開始したプロジェクト。サイレント・ブックス（Silent Books）とは文字のない絵本のこと。アフリカや中東からの移民や難民が集まる地中海の小島ランペドゥーサに子ども図書館を造り、母語の異なる子どもたちのために、2年に1度世界中から文字なし絵本を収集する。

エ) アストリッド・リンドグレーン記念文学賞への推薦（毎年）

2021年アストリッド・リンドグレーン記念文学賞に、前年に引き続き田島征三氏を推薦した。

■アストリッド・リンドグレーン記念文学賞

『長くつ下のピッピ』で知られるスウェーデンの児童文学作家アストリッド・リンドグレーンの功績を記念し、スウェーデン政府が2002年に創設した賞。世界中の子どもの本の作り手、または子どもの本の普及に貢献した人・団体を対象に贈られる。日本で推薦権を有するのは、IBBY と大阪国際児童文学振興財団、日本図書館協会、荒井良二氏（2005年受賞者）。

4. 派遣・出張事業

なし

【調査研究・情報提供事業】

1. 図書展

ア) 世界の子どもの本展

2018年IBBY オナーリストに選ばれた191冊（61の国と地域50言語）と2018年国際アンデルセン賞受賞者（作家賞：角野栄子氏、画家賞：イーゴリ・オレイニコフ氏）の作品を1会場で展示した。「子どもゆめ基金」の助成活動として、4都道府県で展示と巡回講演会「世界の子どもの本はこんなに面白い！」を計画していたが、コロナウィルスの影響でいずれも中止とした。代替事業として、会員翻訳者にオナーリスト作品を紹介してもらったブックトークビデオを作成し、ホームページ等で配信した。

▽展示会

2021/3/19～28	山梨県	旧バウハウス（小淵沢）
--------------	-----	-------------

▽展示した日本の本

国際アンデルセン 賞受賞：角野栄子 代表作品	『魔女の宅急便』『魔女に会った』『トラベッド』（以上 福音館書店）、『チキチキチキチキいそいでいそいで』（あかね書房）、『トンネルの森1945』（KADOKAWA）
日本のIBBY オナー リスト	『フラダン』（古内一絵 著／小峰書店）、『ドームがたり』（スズキコージ絵／アーサー・ビナード文／玉川大学出版部）、『お静かに、父が昼寝しております』（母袋夏生 訳／岩波書店）

▽ブックトークビデオ協力者

愛甲恵子（イラン）、宇野和美（チリ）、大作道子（オーストラリア、ニュージーランド、南アフリカ）、おおつかのりこ、片桐早織（チュニジア）、木村有子（チェコ）、河野万里子（スイス、ハイチ）、さくまゆみこ（アイルランド、オーストラリア、ガーナ）、野坂悦子（オランダ、ベルギー）、若松宣子（オーストラリア、ドイツ）

イ) 世界のバリアフリー児童図書展

2019年IBBY が選定したバリアフリー児童図書40冊（20カ国17言語）をIBBY から借り受け13会場で巡回展示した。

7/28～8/30	東京都	国立国会図書館国際子ども図書館
9/13～25	愛知県	名古屋市緑図書館
10/9～23	東京都	ミライロハウス TOKYO
10/27～11/9	静岡県	静岡県立大学短期大学部（非公開）
11/14～29	群馬県	太田市美術館・図書館
12/4～13	高知県	高知こどもの図書館
12/16～25	神奈川県	横浜ラポール
2021/1/13～24	滋賀県	愛荘町立愛知川びんてまりの館
1/30～2/7	兵庫県	あかし市民図書館
2/10～14	兵庫県	明石市立西部図書館
2/24～3/6	東京都	板橋区立蓮根図書館
3/15～21	大阪府	枚方市立中央図書館
(21年度) 4/6～18	東京都	三鷹市立三鷹図書館

▽展示した日本の本

『モグモグばっくん』（布の絵本／てのひらの会）、『夏がきた』（羽尻利門 作／あすなろ書房）、『このあいだにながった?』（佐藤雅彦＋ユーフラテス 作／福音館書店）

ウ) 日中韓絵本展「となりの国への扉—日中韓共同プロジェクトと絵本作家からのメッセージ—」

コロナウィルスまん延のため中止となった2019年度国際子どもの本の日フェスティバル（2020年3月）のために寄せられた韓国と中国の絵本作家からのメッセージをきっかけに絵本展を開催した。IBBY 日中韓支部のプロジェクトで選ばれた本も展示した。

協力：日韓絵本交流会 中国「小活字」申明浩 唐亜明
83gocco 日本出版クラブ

9/1～11/19	韓国の絵本作家からのメッセージ	出版クラブビル3階クラブライブラリー（東京都）
11/20～2021/1/14	中国の絵本作家からのメッセージ	

2. ブックリストの作成

ア) 「IBBY がすすめる世界の児童書：国際アンデルセン賞とIBBY オナーリスト2020」

2020年IBBY オナーリストのカatalog *IBBY Honour List 2020* の邦訳版。179タイトル（60の国と地域48言語）と2020年国際アンデルセン賞受賞者（作家賞：ジャクリン・ウッドソン氏、画家賞：アルベルティス氏）の作品を紹介。翻訳は、会員の各言語専門家に依頼。コロナウィルスの影響により、完成は2021年度に持ち越し。

AB 判／ 64 ページ／ 4 色	
発行日	2021 年 5 月予定
翻訳協力	愛甲恵子、宇野和美、王玉、大作道子、おおつかのりこ、片桐早織、神谷丹路、木村有子、河野万里子、相良倫子、さくまゆみこ、櫻井映子、武富博子、富澤規子、南平かおり、野坂悦子、横野奈々、若松宣子、脇本美穂、李麗
編集協力	川辺剛彦
協賛	日産自動車

イ)「おすすめ! 世界の子どもの本 2020」

日本の子どもたちに読んでもらいたい翻訳児童書のブックガイド。2019 年 1 月から 12 月に刊行された本の中から、絵本・読みもの・ノンフィクションのカテゴリーで合計 68 冊を紹介。翻訳家の斎藤倫子氏・西村由美氏のエッセイ、さくまゆみこ氏による 2020 年国際アンデルセン賞受賞作家ジャクリーン・ウッドソンに関する記事などを掲載。2021 年 3 月に、昨年刊行した「おすすめ! 日本の子どもの本 2020」とともに全国の公共図書館に配布した。

AB 判／ 24 ページ／ 4 色	
発行日	2021 年 2 月 25 日
選書・執筆	さくまゆみこ、代田知子、神保和子、土居安子、福本友美子
表紙画	きくちちき
編集協力	梓澤設夫
特別協賛	日本児童教育振興財団、ポプラ社
協賛	岩崎書店、偕成社、佼成出版社、講談社、子どもの未来社、さ・え・ら書房、出版ワークス、小学館、世界文化社、のら書店、理論社

▽ 2020 年版掲載図書 (68 冊・掲載順)

◎絵本	
『おかしなおきやくさま』学研プラス	『おにちゃんとおく』光村教育図書
『おまつりをたのしんだおつきさま』のら書店	『コレットのにげたインコ』偕成社
『とんでいったふうせんは』絵本塾出版	『なかよしの水』西村書店
『ヒキガエルがいく』岩波書店	『ブラウンぼうやのとびきりさいこうのひ』ロクリン社
『リボン』大日本絵画	『だいすきな先生へ』評論社
『チェックボ』福音館書店	『ひみつのピクピク』廣済堂あかつき
『プールのひは、おなかいたいひ』光村教育図書	『フォックスさんのにわ』評論社
『夜のあいだに』ゴブリン書房	『ルプナとこいし』BL 出版
『ちいさなタグボートのパラード』東京外国語大学出版会	
◎読みもの	
『あたまをつかった小さなおばあさんがんばる』福音館書店	『嵐をしずめたネコの歌』徳間書店
『ねこと王さま』徳間書店	『ヤナギ通りのおばけやしき』瑞雲舎
『ワンダ・ガアグ グリムのゆかいなおはなし』のら書店	『貸出禁止の本をすくえ!』ほるぶ出版

『キバラカと魔法の馬』岩波書店	『しずく的首飾り』岩波書店
『物語 たくさんのお月さま』徳間書店	『やかまし村の子どもたち』岩波書店
『希望の図書館』ポプラ社	『クレンショーがあらわれて』フレーベル館
『ゴースト』小峰書店	『この海を越えれば、わたしは』さ・え・ら書房
『桜の木の見える場所』小学館	『11 番目の取引』鈴木出版
『月の光を飲んだ少女』評論社	『天オルーシーの計算ちがい』講談社
『ブライアーヒルの秘密の馬』小峰書店	『ベストマン』小学館
『ぼくの帰る場所』鈴木出版	『ほんとうの願いがかなうとき』偕成社
『名探偵カッレ 城跡の謎』岩波書店	『わたしがいどんだ戦い 1940 年』評論社
『アーモンド』祥伝社	『明日をさがす旅』福音館書店
『アンチ』岩波書店	『オオカミが来た朝』福音館書店
『ソングジュの見た星』徳間書店	『飛ぶための百歩』岩崎書店
『瓶に入れた手紙』文研出版	『フラミンゴボーイ』小学館
『ぼくがいちばんききたいことは』ほるぶ出版	『夢見る人』岩波書店
◎ノンフィクション	
『いろがみえるのはどうして?』小学館	『いろいろなからだのほん』少年写真新聞社
『うるさく、しずかに、ひそひそと』河出書房新社	『キュリオシティ』BL 出版
『映画って、どうやってつくるの?』西村書店	『数字はわたしのことば』ほるぶ出版
『PEACE AND ME わたしの平和』かもがわ出版	『プラスチックプラネット』評論社
『ミイラ学』今人舎	『わたしは女の子だから』西村書店
『独裁政治とは?』あかね書房	『かくれ家のアンネ・フランク』岩波書店
『ひとすじの光』小学館	『戦場の秘密図書館』文溪堂
『「走る図書館」が生まれた日』評論社	『キャバとゲルダ』あすなろ書房
『フレディ・マーキュリー』岩崎書店	

ウ) Japanese Children's Books 2021

海外に紹介したい日本の子どもの本の英文ブックガイド。2019 年 9 月から 2020 年 8 月に刊行された本の中から、絵本・読みもの・ノンフィクションのカテゴリーで合計 89 冊を紹介。コロナウィルスの影響により、完成は 2021 年度に持ち越し。

AB 判／ 32 ページ／ 4 色	
発行日	2021 年 6 月予定
選書・執筆	坂口美佳子、さくまゆみこ、土居安子、野上暁、広松由希子
表紙画	たむらしげる

英語翻訳	宇田川エイヴリ、平野キャシー
特別協賛	日本児童教育振興財団、ポプラ社
協賛	岩崎書店、偕成社、佼成出版社、講談社、子どもの未来社、さ・え・ら書房、出版ワークス、小学館、世界文化社、のら書店、理論社

▽ 2021 年版掲載図書（89 冊・掲載順）

◎絵本	
『あめかっぱ』偕成社	『うどんできた！』福音館書店
『うりのつるくるくる』光村教育図書	『こどもたちはまっている』垂紀書房
『こんにちわ！わたしのえ』ほるぷ出版	『たいこ』福音館書店
『チンチラカと大男』BL 出版	『つかまえた』偕成社
『つるかめつるかめ』あすなろ書房	『テッコ・プー』偕成社
『のりまき』福音館書店	『ひみつだからね』偕成社
『ひょうたんとかえる』鈴木出版	『ふーってして』KADOKAWA
『まっている。』講談社	『みんなのおすし』ポプラ社
『やさいのおにたいじ』福音館書店	『やねうらべやのおばけ』偕成社
『おれ、よびだしになる』アリス館	『さくらの谷』偕成社
『ちび竜』童心社	『なんだろうなんだろう』光村図書出版
『の』福音館書店	『ランカ』偕成社
『あるひあるとき』のら書店	『おきなぐさ』三起商行
『かがみとチコリ』講談社	『ファイアー』理論社
『とうちゃんはむしちゃんよか』光村教育図書	
◎読みもの	
『やまねこのこんにちわ』あかね書房	『レッツはおなか』講談社
『雨の日は、いっしょに』佼成出版社	『がっこうかっぱのおひっこし』童心社
『区立あたまのてっぺん小学校』金の星社	『しぶがきほしがきあまいかき』福音館書店
『しらゆきちりかちっちゃん』PHP 研究所	『ハンカチともだち』アリス館
『ぼくと母さんのキャラバン』講談社	『ぼくとキキとアトリエで』文研出版
『天邪鬼な皇子と唐の黒猫』ポプラ社	『アリババの猫がきいている』ポプラ社
『科学でナゾとき！』偕成社	『きつねの橋』偕成社
『ギフト、ぼくの場合』小学館	『サンドイッチクラブ』岩波書店
『じりじりの移動図書館』講談社	『父さんと、母さんと、ぼく』福音館書店
『図書館からの冒険』偕成社	『となりのアブダラくん』講談社
『夏休みに、ぼくが図書館で見つけたもの』あかね書房	『ぼくのまつり縫い』偕成社
『もうひとつの曲がり角』講談社	『赤毛証明』くもん出版

『アドリブ』あすなろ書房	『イーブン』小学館
『朔と新』講談社	『スベらない同盟』講談社
『団地のコトリ』ポプラ社	『蝶の羽ばたき、その先へ』小峰書店
『ワタシゴト』汐文社	
◎ノンフィクション	
『うみのダンゴムシやまのダンゴムシ』岩崎書店	『ざりがににひみつ』ひさかたチャイルド
『巨大空港』福音館書店	『100』福音館書店
『ぼくのマツボックリ図鑑』岩崎書店	『ふゆとみずのまほう こおり』ポプラ社
『りんごだんだん』あすなろ書房	『いちご』小学館
『やっぱりしごとば』ブロンズ新社	『お蚕さんから糸と綿と』アリス館
『カイルのピアノ』岩崎書店	『恐竜学』学研プラス
『故郷の味は海をこえて』ポプラ社	『こども文様じてん』平凡社
『さがす』アリス館	『里山の自然 田んぼの1年』偕成社
『しまふくろうの森』あかね書房	『タコとイカはどうちがう？』ポプラ社
『南極のさかな大図鑑』福音館書店	『虫のしわざ図鑑』少年写真新聞社
『やとのいえ』偕成社	『琉球という国があった』福音館書店
『わたしたちのカメムシずかん』福音館書店	『オランウータンに会いたい』あかね書房
『完司さんの戦争』偕成社	『自分の力で肉を獲る』旬報社
『先生、ウンチとれました』さ・え・ら書房	『百年後を生きる子どもたちへ』農山漁村文化協会
『ダイエット幻想』筑摩書房	

工)「おすすめ！日本の子どもの本 2021」

上記 *Japanese Children's Books 2021* の日本語版。コロナウィルスの影響により、発行は 2021 年度に持ち越し。

AB 判 / 24 ページ / 4 色	
発行日	2021 年 5 月予定
選書・執筆委員	坂口美佳子、さくまゆみこ、土居安子、野上暁、広松由希子
表紙画	たむらしげる
編集	梓澤設夫
特別協賛	日本児童教育振興財団、ポプラ社
協賛	岩崎書店、偕成社、佼成出版社、講談社、子どもの未来社、さ・え・ら書房、出版ワークス、小学館、世界文化社、のら書店、理論社

3. 講座・研究会

コロナウィルスの影響によりオンラインでの実施に計画変更した。年度前半は、オンラインイベントの実施方法や必要経費などを模索し、秋以降の実施となった。実行委員のほかオンラインサポートのチームも結成し多くの会員の力を借りて実現した。

ア) オンライン・トライアル講座

初めてのオンラインイベントは、理事が講師となり、103人が参加した。

9/5 (土)	国際アンデルセン賞の現在と未来～2020年の受賞者を中心に	講師：土居安子、さくまゆみこ、広松由希子
---------	-------------------------------	----------------------

イ) JBBY 世界の子どもの本講座 (オンライン全4回)

国際アンデルセン賞を中心に、世界の子どもの本をテーマにした講座を4回実施した。参加者のべ517人。

9/27 (日)	国際アンデルセン賞受賞画家・赤羽末吉の生涯と作品	講師：赤羽茂乃
10/31 (土)	挑戦する絵本作家・田島征三の現在、そしてこれから！	講師：田島征三
12/5 (土)	ミュンヘン国際児童図書館と「ホワイト・レイブンズ」	講師：中野怜奈
2021/1/31 (日)	ロシアの子どもの本：1920年代から、国際アンデルセン賞画家オレイニコフまで	講師：南平かおり

ウ) JBBY 新・編集者講座第6期 (オンライン全3回)

若手児童書編集者にとっての学びの場、子どもの本の未来を創る次世代の交流の場を目指し、連続講座を3回実施した。今年度の全体テーマは「今、編集者が考えるべきこと」。参加者のべ260人。

10/21 (水)	エージェン트가考える、進化するデジタルとは？ 変容するマンガと子どもの本のゆくさき	講師：佐渡島庸平
11/11 (水)	ヒット書籍ができるまで～著者との出会い方から作品の届け方まで	講師：篠原一朗
11/25 (水)	見えないものを見る～コロナ禍の書店と本の未来を紡ぐ	講師：兼森理恵 磯崎園子

エ) 第3回 JBBY 子どもの本の翻訳フォーラム (オンライン)

子どもたちには、日本人とは異なる視点で描かれた海外の本も必要だという考えから、翻訳児童書に関するフォーラムを毎年開催している。今年は、IBBY オナーリスト受賞翻訳家をパネリストに迎えた。参加者217人。「子どもゆめ基金」助成活動。

2021/1/16 (土)	翻訳しながらみえてきたこと・考えたこと	講師：斎藤倫子、西村由美、母袋夏生 進行：さくまゆみこ
---------------	---------------------	-----------------------------

オ) JBBY 希望プロジェクト学びの会 (オンライン全3回)

国内の困難を抱える子どもたちを支援するプロジェクト「JBBY 希望プロジェクト」の活動を、より有意義なものにするため、子どもたちが直面している困難の実情を学ぶ学習会を3回実施した。参加者のべ121人。

11/28 (土)	コロナ禍と子どもたちの居場所～学校ソーシャルワークの視点から	講師：金澤ますみ
12/19 (土)	知ることが大事！をこどもたちへ～子どもの本の編集の現場から	講師：千葉美香
2021/2/11 (木祝)	震災から10年、被災地の子どもたちが教えてくれること	講師：菅野祐太

カ) テーマ別勉強会「JBBY ノンフィクションの子どもの本を考える会」(オンライン全2回)

会員主体で2回実施した。参加者のべ32人。

10/16 (金)	テーマ本『草木とみた夢』
2021/3/10 (水)	テーマ本『命のうた』

4. 会報の発行

会報「Book & Bread」を4回発行した。

143号 (2020/6月)	表紙：ひらいたかこ／巻末エッセイ：児島なおみ
144号 (2020/9月)	表紙：さとうわきこ／インタビュー：たむらしげる／巻末エッセイ：長江優子
145号 (2020/12月)	表紙：とよたかずひこ／インタビュー：田島征三／巻末エッセイ：池田ゆみる
146号 (2021/3月)	表紙：国際子どもの本の日ポスター (ホジェル・メロ)／インタビュー：梨屋アリエ／巻末エッセイ：すとうあさえ
仕様	B5版、36頁 印刷：図書印刷株式会社
広告協力	岩波書店、偕成社、共同印刷、くもん出版、講談社、至光社、出版文化産業振興財団、小学館、大日本印刷、東京印書館、図書印刷、凸版印刷、童心社
編集委員	赤石忍 (編集長)、田中明子、堤嘉代、野上暁、松井紀美子、松岡由紀、山森健太郎
デザイン・レイアウト	計良元宏

5. ウェブサイトなどによる広報

ホームページに会員専用ページを開設、Facebookに会員専用オンラインサロン「Book & Bread Cafe」を新設、JBBYがすすめる児童書の紹介に特化したInstagramを新設。会員専用ページのパスワードならびに、会員専用オンラインサロンの合言葉がわからない方は、JBBY事務局までお問い合わせください。

ホームページ	https://jbbby.org/	
Facebook	JBBYpi	フォロワー 2,248人
FB 会員専用オンラインサロン「Book & Bread Cafe」		参加会員 72人
Twitter	JBBYpi	フォロワー 2,841人
Instagram	jbbby_kodomonohon	フォロワー 1,103人
Peatix	jbbby.peatix.com	フォロワー 990人

6. 協力事業 (他団体との連携・協力)

ア) 子どもの読書推進会議

民間の読書関連団体が結成した「子どもの読書推進会議」構成団体として協力した。野上暁理事が、会議の副代表に就任した。

構成団体 (順不同)	読書推進運動協議会、全国学校図書館協議会、日本雑誌協会、日本書店商業組合連合会、出版文化産業振興財団 (JPIC)、日本児童出版美術家連盟 (童美連)、日本図書館協会、日本書籍出版協会、日本出版取次協会、日本児童図書出版協会、日本児童文芸家協会、日本児童文学者協会、JBBY
---------------	---

イ) プラチスラバ世界絵本原画展 (国内巡回展)

各開催館ならびに読売新聞社美術館連絡協議会が主催する巡回展に協力した。(2021 年度へ継続事業)

10/17 ~ 12/13	奈良県	奈良県立美術館
2021/1/5 ~ 2/28	千葉県	千葉市美術館
4/17 ~ 6/6 (21 年度事業)	栃木県	足利市立美術館
7/10 ~ 8/29	埼玉県	うらわ美術館
9/11 ~ 11/7	神奈川県	茅ヶ崎市美術館

▽日本の展覧作家と作品

きくちちき『もみじのてがみ』 *金牌	荒井良二『山のヨーナ』
軽部武宏『ばけバケツ』	さかたきよこ『金の鳥』
ザ・キャビンカンパニー『ボンボとヤージュ』	シゲリカツヒコ『大名行列』
島野雫『おなかのなかで』『うざらかあさんとたまご』	スズキコージ『コーベッコー』
田島征三『わたしの森に』	田島征彦『やんばるの少年』
田中清代『くろいの』	たむらしげる『よるのおと』
降矢なな『やもじろうとはりきち』	みやこしあきこ『ぼくのたび』
ミロコマチコ『まっくらやみのまっくら』	

ウ) 山田養蜂場「ミツバチの絵本コンクール」

喜入今日子理事と藤田隆広理事が、第 4 回 ミツバチの絵本コンクールに審査員として協力した。

工) 群馬県太田市美術館・図書館 (群馬県)

事務局長が、運営委員として協力した。

オ) 後援事業

全国	アンデルセンのメルヘン大賞	アンデルセン・パン生活文化研究所
全国	JPIC 読書アドバイザー養成講座	出版文化産業振興財団 (JPIC)
全国	日産 童話と絵本のグランプリ	大阪国際児童文学振興財団 / 日産自動車
全国	いたばし国際絵本翻訳大賞	板橋区ほか
全国	ミツバチの絵本コンクール	山田養蜂場
全国／世界	ミツバチの一枚画コンクール	山田養蜂場
北海道	けんぶち絵本の里大賞・けんぶち絵本原画展	剣淵町絵本の館
北海道	せなけいこ展 (北海道立文学館)	朝日新聞社
富山県	とやま元気ワールド 絵本ランド WEB2020	富山新聞社
長野県	グリム童話のメルヘン旅行記	軽井沢絵本の森美術館

長野県	お菓子の家の先には…?『グリム童話』の森へようこそ	軽井沢絵本の森美術館
長野県	開館 30 周年記念企画展『『グリム童話』の裏話』	軽井沢絵本の森美術館
長野県	生誕 111 年 赤羽末吉展	安曇野ちひろ美術館
東京都	没後 10 年 瀬川康夫展	ちひろ美術館・東京
東京都	生誕 110 年 赤羽末吉展	ちひろ美術館・東京
東京都	生誕 110 年 赤羽末吉展	教文館
東京都	降矢なな絵本原画展	教文館
東京都	ポローニャ・ブックフェア in いたばし	板橋区
東京都	せなけいこ展 (松屋銀座)	朝日新聞社
神奈川県	佐藤さとる展	神奈川近代文学館
静岡県	ユニバーサルデザイン絵本コンクール	静岡文化芸術大学
富山県	とやま元気ワールド 絵本ランド WEB2020	富山新聞社
広島県	せなけいこ展 (ひろしま美術館)	朝日新聞社

【その他の事業】

1. イタリア・ポローニャ国際絵本原画展

イタリアのポローニャ・ブックフェアで開催される「イラストレーター展」の入選作品を紹介する国内巡回展「2020 イタリア・ポローニャ国際絵本原画展」の事務局を務めた。コロナウィルスの影響により第一会場だった西宮市大谷美術館は中止となり、4 会場での巡回。特別展示は「『視る』を超えて」とし、イタリアの触る絵本を展示した。また、コロナ対応として期間限定の特設ウェブサイトを開設した。

8/22 ~ 9/27	東京都	板橋区立美術館
10/3 ~ 11/1	三重県	四日市市立博物館
11/6 ~ 12/13	石川県	石川県七尾美術館
2021/1/5 ~ 24	群馬県	太田市美術館・図書館

2. JBBY 希望プロジェクト

IBBY のチルドレン・イン・クライシスの精神に則り、日本国内の困難な状況にある子どもたちに本を通じた支援活動を行った。(「希望プロジェクト・学びの会」については、【調査研究・情報提供事業】の 3- オに記載)

ア) 野馬追文庫

東日本大震災の後、福島県南相馬市の仮設住宅に毎月本を送るプロジェクトからスタートし、現在は季節ごとに児童施設へ送っている。

7 月	南相馬市小高交流センターと聖愛こども園に、季節の本 12 タイトルを寄贈
10 月	南相馬氏小高交流センターと聖愛こども園に、季節の本 12 タイトルを寄贈
2021 年 3 月	南相馬氏小高交流センターと聖愛こども園ほか 7 カ所に、季節の本 18 タイトルを寄贈

イ) その他の支援活動

支援希望者の要請に応えるかたちで本を届けた。

4月	ぐるーぶ・もこもこの厚意で、子ども食堂等に子ども用の手作りマスクを配布
7～8月、12月	みんなのふくろう食堂、WAKUWAKU ネットワーク、船橋市子ども食堂、みんなふえに、JBBYのミニ折本を寄贈
2021年2月	三菱UFJ銀行からの依頼で、福島県本宮町立図書館への寄贈本404冊を選書・手配した

ウ) 少年院ライブラリー

少年院・鑑別所からの依頼を受け、保護施設なども含めて利用できる児童書おすすめリストを作成することになった。コロナ禍で一時中断していたが、オンラインでのやりとりを通して、昨年に引き続き、選書方針を確認し、具体的な選書にあたった。100冊強のおすすめ本を掲載したリストについては、次年度8月の完成を目指している。

エ) 募金活動

希望プロジェクトの支援活動に限定した寄付を募り、2020年度は「713,636円」を集めた。

■募金口座 ゆうちょ銀行〇一八（ゼロイチハチ）支店 普通 2477506 口座名義：ニホンコクサイジドウトシヨヒョウギカイ
■JBBY 希望プロジェクト 東日本大震災後、子どもの本に関わるいくつかの団体とともに立ち上げた「子どもたちへ〈あしたの本〉プロジェクト；2011-2016」で培った経験や反省をいかし、日本国内のさまざまな困難を抱える子どもたちに目をむけ、本の力で希望ある未来を届けようと、JBBYが2017年に発足。

3. フォーラム・子どもたちの未来のために

オンラインの学習会を2回実施した。また、オンラインのニューズレターを毎月発行した。

12/13（日）	日本学術会議問題がもたらす危険性とは？	講師：山田健太
2021/3/6（土）	コロナ禍での出版状況と子どもの本	講師：星野渉

■フォーラム・子どもたちの未来のために 「特定秘密保護法」や一連の「安保法案」が、子どもたちの未来を危うくするものと受け止め、子どもの本に携わる出版社、作家、画家、翻訳家、研究者など各方面の団体が危機感を共有して2013年に結成した連絡組織。会員への強制力はなく、勉強会を実施することで問題意識の拡大を図る。 構成団体：絵本学会、絵本作家・画家の会、童話著作権者の会、日本児童図書出版協会、日本児童文学者協会、日本ペンクラブ「子どもの本」委員会、JBBY。 https://www.f-kodomotachinomirai.com/
--

4. 出展ほか

特になし（5月の上野の森親子ブックフェスタはコロナウイルスの影響により中止）

5. 物販

なし（コロナウイルスの影響により、リアルの講座を開催しなかったため）

【組織・その他】

1. 総会・理事会等の開催

今年度の理事会は、コロナウィルス蔓延の対策として、いずれもオンラインで実施。総会は、事前に書面議決書と委任状を集め、当日は会長・副会長・専務理事・監事のみで実施した。

5/26（火）	第1回理事会	出席14名 総会の実施方法について／事業報告・決算報告について／オンラインを利用したイベントについて／ホームページリニューアルとSNSの利用について／チームウェアの導入について／バリアフリー児童図書国内選考会の結果について ほか
6/26（金）	第50回定時総会	出席5名、書面議決書138、委任状181 2019年度事業報告と決算報告／2020年度事業計画と予算案
7/22（水）	第2回理事会	出席14名 オンラインイベントについて／日中韓展示（クラブライブラリー）について／ブックリストについて／国際アンデルセン賞の国際選考委員派遣・国内選考会について／労務について ほか
9/7（月）	第3回理事会	出席14名 オンラインイベントの反省と今後の企画について／日中韓展示について／翻訳フォーラムについて／IBBYのオンライン総会について／国際子どもの本の日ホスト国について／IBBYロシアからのリクエストについて／2021年度子どもゆめ基金申請内容について／国際アンデルセン賞国内選考会の結果と資料作りについて ほか
11/18（水）	第4回理事会	出席13名 2020年度事業進捗について／オンラインサロン課題について／収支中間報告 ほか
2021/3/4（木）	第5回理事会	出席14名 2020年度事業進捗について／子どもの本の日フェスティバルについて／2021年度事業計画について／BIB2021への推薦について／役員選任について ほか

2. 役員

会長	さくまゆみこ（翻訳家）	理事	土居安子（大阪国際児童文学振興財団総括専門員）
副会長	宇野和美（翻訳家）	理事	野坂悦子（翻訳家、紙芝居文化の会海外統括委員）
副会長	野上暁（日本ベンクラブ常務理事、東京純心大学客員教授）	理事	濱野京子（作家）
専務理事	古田幸司（講談社第六事業局 新事業チーム担当部長 兼 ライツ・メディアビジネス事業局 国際ライツ事業部担当部長）	理事	廣松英樹（福音館書店専務取締役）
理事	赤石忍（日本児童図書出版協会）	理事	広松由希子（絵本の評論、文、翻訳、展示企画）
理事	喜入今日子（小学館第二学習局プロデューサー）	理事	藤田隆広（偕成社編集部）
理事	汐崎順子（研究者）	理事	吉野万理子（作家）
理事	代田知子（三芳町立図書館長）	監事	柏原順太（小学館第二児童学習局エキスパートプロデューサー）
		監事	村山隆雄（聖徳大学教授）

3. 委員会図



展覧会	世界の子どもの本展	野坂悦子 土居安子 野上暁
	バリアフリー児童図書展	攪上久子
	ボローニャ国際絵本原画展	松岡希代子 森泉文美
	日中韓展示「となりの国への扉」	広松由希子 土居安子 松本育子 中島尚子 申明浩 王玉 李麗
出版	おすすめ！日本の子どもの本(日/英)	さくまゆみこ 坂口美佳子 土居安子 野上暁 広松由希子 梓澤設夫
	おすすめ！世界の子どもの本	さくまゆみこ 代田知子 神保和子 土居安子 福本友美子 梓澤設夫
	オナーリストカタログ日本語版	汐崎順子 川辺剛彦 愛甲恵子 宇野和美 王玉 大作道子 おおつかのりこ 片桐早織 神谷丹路 木村有子 河野万里子 相良倫子 さくまゆみこ 櫻井映子 武富博子 富澤規子 南平かおり 野坂悦子 横野奈々 若松宣子 脇本美穂 李麗
	バリアフリーカタログ日本語版	攪上久子 汐崎順子 板谷ひさ子 川辺剛彦
	会報	赤石忍 田中明子 堤嘉代 松井紀美子 松岡由紀 山森健太郎 野上暁 ひらいたかこ さとうわきこ とよたかずひこ 田島征三 梨屋アリエ 横川浩子 脇本美穂 松本猛 宮村彩子 長友恵子 王玉 児島なおみ 長江優子 池田ゆみる すとうあさえ
講座	新・編集者講座	喜入今日子 藤田隆広 吉田幸司 赤松大輝
	世界の子どもの本講座	代田知子 汐崎順子 野上暁 神保和子 中野怜奈 前沢明枝 赤羽茂乃 田島征三 南平かおり
	翻訳フォーラム	宇野和美 中井はるの さくまゆみこ 斎藤倫子
	ノンフィクションの子どもの本を考える会	藤田隆広 小原解子 おおつかのりこ さくまゆみこ 中島尚子 長友恵子 二階堂恵理
	オンライン講座サポート	神保和子 赤松大輝 吉田幸司 吉野万理子 汐崎順子 宇野和美 藤田隆広 中島尚子 野坂悦子 土居安子 前沢明枝 中野怜奈
広報	ホームページ	吉田幸司 吉野万理子 野坂悦子
	フェイスブック	野坂悦子 汐崎順子
	ツイッター	吉野万理子
	インスタグラム	梅野愛子 昆野良美
希望プロジェクト	学びの会・支援活動	濱野京子 宇野和美 大塚敦子 攪上久子 金澤ますみ さくまゆみこ 中島尚子 野坂悦子 町田りん 村中李衣
	野馬追文庫	攪上久子 柳沼志津子
	少年院ライブラリー	さくまゆみこ 土居安子 野坂悦子 村中李衣 大塚敦子 町田りん 和田直 山中かおり 神保和子 中島尚子 清水由紀乃
その他	フォーラム子どもたちの未来のために	濱野京子 赤石忍 野上暁
	上野の森ブックフェスタ	宇野和美
	協力：山田養蜂場ミツバチの絵本コンクール	喜入今日子 藤田隆広（審査員）
	協力：子どもの読書推進会議	野上暁（副代表）
	協力：太田市美術館・図書館	鳥塚尚子（運営委員）
	協力：ユニセフ	さくまゆみこ（顧問）

事務局	〒 101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-32 日本出版クラブビル 電話 03-6273-7703 FAX 03-6273-7708 MAIL info@jbby.org	鳥塚尚子 齊藤美穂
-----	---	-----------